八洲電機グループの体制

各種ISO取得をはじめ、多数の経験豊富な有資格者が高品質なサービスを提供

八洲電機グループでは、お客様の多様なニーズにお応えし、高品質なサービスが提供できるよう万全の体制を整えております。
ISO14001、ISO9001、ISO27001の取得に加え、各種施工管理技士をはじめとした有資格者が多数在籍しております。

ISO取得状況

JQA-EM1677

環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO14001を取得しています。

- **登録事業所:**本社、エンジニアリングセンター、関西支店、中国支店、岡山支店、東北営業所、千葉営業所、周南営業所、大分営業所、福岡営業所、八洲ファシリティサービス㈱、八洲産機システム㈱、ヤシマコントロールシステムズ㈱、八洲環境エンジニアリング㈱、八洲情報システム㈱

JQA-IM0596

情報セキュリティマネジメントシステムに関する国際規格であるISO27001を取得しています。

- **登録事業所:**八洲情報システム㈱ソリューション一部、二部

JQA-QMA15798

品質マネジメントシステムに関する国際規格であるISO9001を取得しています。

- **登録事業所:**中国営業部中国産業インフラ一課、インフラエンジニアリング部

ISO9001:2015
20001602 QM15

- **登録事業所:**ヤシマコントロールシステムズ㈱本社、本社工場、小河原工場、関西営業所、関東営業所

JQA-QM7070

- **登録事業所:**㈱三陽プラント建設

有資格者の状況(八洲電機)

資格者 (2020年4月1日現在)

建築士	1級	1名
技術士	電気・電子部門	2名
電気工事施工管理技士	1級 2級	143名 3名
電気通信工事施工管理技士	1級	8名
建築施工管理技士	1級 2級	7名 1名
土木施工管理技士	1級 2級	12名 1名
管工事施工管理技士	1級 2級	45名 2名
監理技術者	機械器具設置	19名
電気工事士	1種 2種	20名 13名
電気主任技術者	1種 3種	1名 5名
特種電気工事資格者	非常用予備発電装置	13名
自家発電設備専門技術者	据付工事部門	17名
危険物取扱者	甲種 乙種 丙種	2名 17名 4名
消防設備士	甲種 乙種	4名 3名
建築物環境衛生管理技術者		2名

登録

一級建築士事務所	許可番号	東京都知事登録第61249号
	登録年月日	2016年12月5日

事業許可関連

特定建設業	建設業の種類	土木工事業、建築工事業、とび・土工工事業、屋根工事業、電気工事業、管工事業、鋼構造物工事業、ほ装工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、機械器具設置工事業、電気通信工事業、水道施設工事業
	許可番号	国土交通大臣許可(特-27)第5842号
	許可年月日	2015年12月17日
一般建設業	建設業の種類	消防施設工事業
	許可番号	国土交通大臣許可(般-27)第5842号
	許可年月日	2015年12月17日
電気工事業	通知番号	経済産業大臣み通第22001号
	通知年月日	2010年1月13日
高圧ガス販売事業届	届出番号	東京都知事29環改保高第6508号
	届出年月日	2017年6月20日

(2020年4月1日現在)

ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C022915

森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を採用しています。

Waterless Printing. Naturally.

VOC(揮発性有機化合物)などを含む湿し水が不要となる水なし印刷を採用しています。

VEGETABLE OIL INK

環境対応型インキである「植物油インキ」を使用しております。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

お問い合わせ先

八洲電機株式会社

〒105-8686　東京都港区新橋三丁目1番1号　法務・CSR本部　TEL: 03-3507-3233 FAX: 03-3507-3999

https://www.yashimadenki.co.jp/

Yashima
Next to your future



未来ある社会へ

八洲のCSRレポート2020

八洲電機株式会社



「地球環境保全」と
「持続可能な社会」への
貢献を通じて、
企業としての社会的責任を
果たしてまいります。

CONTENTS

01 イントロダクション
02 トップメッセージ
03 ビジネスフィールド
05 ビジネススタイル
07 事業概要
09 主要グループ会社紹介
11 事業紹介
15 コーポレート・ガバナンス
17 ダイバーシティ
19 健康経営の取組み
20 環境活動報告
21 2019年度 活動報告
裏表紙 八洲電機グループの体制



代表取締役会長兼社長
太田明夫

Message

新型コロナウイルス感染症が全世界にまん延している中、皆さまにおかれましては、日々の感染症対策で心身ともに疲労が蓄積していることと推察いたします。一日も早くこの新型コロナウイルス感染症が終息することを、皆さまとともに願うばかりです。

八洲電機グループは、在宅勤務の実施、オフピーク通勤の徹底などの対応を取らせていただき、感染拡大の防止に努めてまいりました。この感染症の完全終息までには、まだまだ長い道のりが続くと思われます。今後もお客様にご不便をおかけしないよう、感染拡大防止に留意しつつ、事業を継続してまいります。

さて、八洲電機グループではエンジニアリング会社として技術力を駆使し、お客様の様々なニーズに対応した付加価値の高い省エネ製品、システム製品を提供する事業を通じ「環境配慮型社会」に貢献しております。

八洲電機グループの主力の環境活動は、この事業によりCO_2排出抑制に貢献することです。2019年度の「CO_2排出抑制貢献量」の実績は572,057トン（目標に対して101％）でした。今年度は目標値580,000トンを掲げ活動に取り組んでおります。

さらに、2020年4月からは当社本社ビルの電力を、CO_2が排出されないバイオマス燃料を利用した再生可能エネルギーに切り替えました。これにより地球温暖化防止に向けさらに貢献してまいります。

これからも、八洲電機グループは事業活動を通じた社会への貢献をはじめ、環境技術分野における研究開発支援、地域美化活動、ボランティア活動など持続可能な社会の構築に向けた活動を推進してまいります。

人々の生活を豊かにする
八洲のエンジニアリング力

八洲電機グループでは、『ソリューション・エンジニアリング力』を
活かした環境技術・サービスをお客様へ提供し、
「地球環境保全」と「持続可能な社会」の実現に貢献しています。



Yashima
Next to your future

コア技術

電機制御システム、環境システム、交通システム、情報システム、
エネルギーシステムの5つのコア技術で、システム設計・
施工管理を行い、お客様の多様なニーズにお応えします。
さらにコア技術を「技術ソリューション力」等で横断的に進化・融合し、
お客様にとって最適なソリューションを提供します。

エンジニアリングセンター

東京地区のエンジニアを2019年6月から、八洲芝公園ビルへ集約し、
エンジニアリングセンターとして活動しております。
現在、1階のエントランスの改修を行っており、お客様がご来場し、
プレゼンテーションも出来る会議室としてリニューアル中です。
また、今年5月にエンジニアリングセンター内での座席移動を行い、
各技術部門のさらなる連携強化を図りました。
今後もエンジニアリング力の強化のための取組みを
順次実施してまいります。

電機制御システム

鉄鋼メーカーを中心に生産性を向上させるファクトリーオートメーションを展開しております。
受配電設備、無線遠方監視システム、製品自動搬送システム、水処理設備など、PLC制御を用いた幅広い分野に対し、現場調査、設計、製作、施工、試運転に至る一貫したソリューションを提供します。
「モノづくり」における現場のニーズに対して、付加価値の高い提案型エンジニアリングでお応えし、お客様の生産性、安全性の向上に貢献しています。



交通システム

交通システムでは、運行・電力管理システム、信号・列車制御システム、受変電システムをはじめ、車両基地における検修設備、分岐装置など幅広い分野に対し、「現場密着」を強みとしたエンジニアリングで、安全・安定輸送に貢献しています。
また、IoT技術を活用した旅客案内、業務支援、メンテナンスの効率化・品質向上で、お客様の成長を支えるソリューションを提供します。

環境システム

空調システム技術では一般空調設備、清浄度・温湿度・室圧を制御したバイオセーフティシステム等の特殊空調設備、冷蔵・冷凍室の低温設備、工場向けのユーティリティとして冷熱源設備・圧縮空気設備を提供しております。また工場・商業施設、オフィスビルへ省エネ提案としてLED照明設備の更新を推進しております。



情報システム

情報システムでは、AI技術を用いた画像認識による侵入監視システム、ウイルスの感染拡大を防止するための体表面温度監視システムなど、最先端の情報ソリューションを展開しています。
また、ビル・工場の入退室管理などのセキュリティシステム、交通機関の列車運行情報、駅構内や改札の混雑状況をモバイル端末などにリアルタイムに配信するサービス、モバイル端末とGPSを活用した災害や事故を防止するシステムなど、お客様の様々な課題解決に対し、サポートしています。



エネルギーシステム

未活用の自然エネルギーを有効活用し、CO_2削減に寄与したエコ発電システムを提供しています。
マイクロ水力発電においては、あらゆる環境・水量・落差の条件に対応し、水車・制御盤などの電気品を提供しております。
エネルギーシステムでは長年培った電機制御技術を活用し、BCP対応の自立発電システムの納入など、お客様の社会貢献を支えています。



The Power of YASHIMA

八洲電機の強み

コア技術を活用し、当社のエンジニアリング力で、大手企業をはじめとした
3,000社を超えるお客様の環境・省エネなどのニーズにお応えし、
様々なソリューションを提供しています。
また、当社のビジネススタイルであるコーポレートインで、
迅速丁寧にお客様をサポートします。



ビジネスのイメージ

当社のビジネスのイメージと、エンジニアリング力を活かしたビジネススタイルについて紹介します。

当社はエンジニアリング会社として、お客様が工場や事務所などへの設備の導入やリニューアルをする際、最適なシステムの構築を行い、設計・施工・保守などを併せて提供します。
最適なシステムをワンストップで提供し、
環境・省エネ・高効率化などの多様なニーズにお応えします。

コーポレートイン

**専門技術者を常駐させ、
お客様目線で最適なソリューションを提供します。**

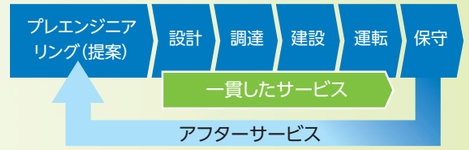
当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、
お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。
これにより、お客様のニーズや課題に対して迅速な対応を実現できます。



エンジニアリングフロー

様々な産業のお客様に技術を付加したサービスを提供します。

製品を販売するだけではなく、プレエンジニアリングから、
設計、調達、建設、運転、保守、アフターサービスまでを
一貫して行い、当社の技術とともに
サービスを提供します。

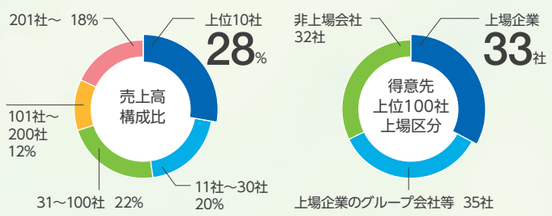


様々な産業のお客様に技術を付加したサービスを提供

お客様基盤

**鉄鋼、石油、医薬品、紙パルプ、
鉄道などの様々な業種、3,000社を超えるお客様と
取引をしています。**

創業以来、実績と信用を積み重ね、多数の企業のお客様と
継続的な取引をしております。



（2019年度 実績）

コア技術

**5つのコア技術で、システム設計・施工・管理を行い、
お客様の多様なニーズにお応えします。
さらにコア技術を「技術ソリューション力」などで横断的に進化・融合し、
お客様にとって最適なソリューションを提供します。**

コア技術				
電機制御システム	環境システム	交通システム	情報システム	エネルギーシステム
最適化を実現するため、設計から行う	ニーズに応じ様々な環境を作り上げる	鉄道事業のニーズにお応えする	様々な情報を取りまとめ、伝達を実現する	再生可能エネルギーを活用する

技術ソリューション力	それぞれのコア技術を進化・融合し問題を解決する
プロジェクトマネジメント力	案件ごとに取りまとめを行う
総合エンジニアリング力	設計・調達・工事などを連携させ提供する
アライアンス構築力	日立グループ会社をはじめとした、最適なパートナーと協業し提供する

セグメント

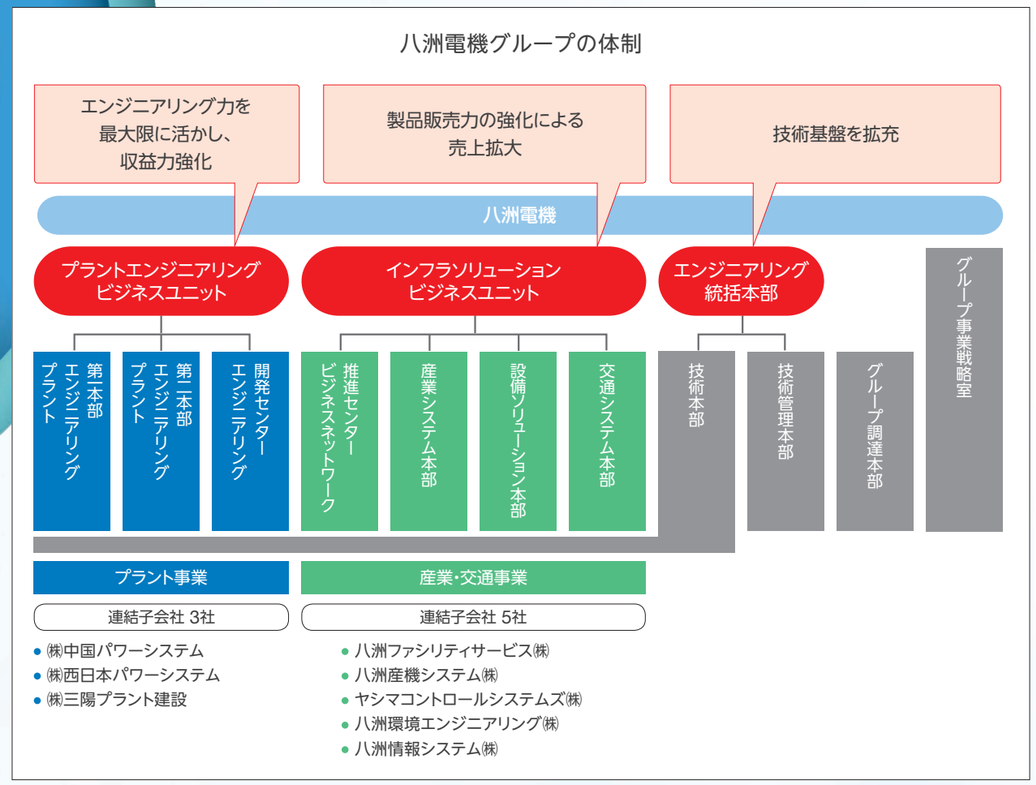
八洲電機グループは
ソリューション・エンジニアリング力の
強化にさらに注力し、
2020年4月より2つのセグメントで
お客様の多様なニーズにお応えして
まいります。



体制図

2020年4月より技術部門を独立させ「エンジニアリング統括本部」を新設しました。グループ会社を含め技術力の向上、ソリューション・エンジニアリング力の強化を図り、八洲電機グループ一体でエンジニアリング会社として「事業規模の拡大」と「収益力の向上」に取り組んでまいります。

八洲電機グループの体制



プラント事業

鉄鋼・石油・エネルギーなどのプラント分野に最先端技術で貢献

事業内容
省エネ化、高効率化への対応及び老朽化更新による設備管理の充実といったニーズに、最先端機器と八洲ソリューション技術を組合わせたシステムを提供しています。

主要取扱製品
鉄鋼システム、自家用発電設備、受変電・配電設備、圧延設備、電機制御、生産管理システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど

産業・交通事業

化学・医薬品・紙パルプ・機械・電気機器・精密機器・鉄道などの幅広い業界に貢献

事業内容
産業分野では空調・冷熱・圧縮機などの環境制御、省エネに配慮した照明やITソリューションなどを提供し、鉄道分野ではインフラの整備・構築を手掛け、安全・安心な社会に貢献しています。

主要取扱製品
空調設備、照明設備、受変電システム、セキュリティシステム、車両及び車両電気品、駅設備関連システム、これらに関わる保守・メンテナンスサービスなど

セグメント別実績



連結子会社の株式譲渡のお知らせ

当社の連結子会社である八洲電子ソリューションズ㈱の全株式を、2020年4月1日付で㈱立花エレテックへ譲渡いたしました。また、本譲渡に伴い2020年度より「電子デバイス・コンポーネント事業」を廃止いたしました。

グループ会社とともに最適なソリューションを提供いたします

プラント事業グループ　産業・交通事業グループ



八洲産機システム株式会社

八洲産機システム㈱は、市場の変化に対応した産機製品・サービス事業をより進化させ、環境配慮型社会へ貢献しております。

また、㈱日立産機システムの特約店として、主にドライブシステム・空圧システム・受配電システムなど各種産業電機機器の販売から、IoTを活用した既設納入品のサービスや保守点検を行うリカーリングビジネスに加え、昨今の省人化・自動化ニーズに対応するシステムソリューションの提案など、お客様視点でのフルサポートを実現いたします。


産業電機機器製品

ヤシマコントロールシステムズ株式会社

ヤシマコントロールシステムズ㈱は、制御盤の設計・製造及び販売・メンテナンスを通して社会に貢献し、業歴46年目になりました。

「設計」「製缶」「組立」「検査」の一貫生産体制を強みに、長年培ってきた「高度な電気、計装技術」を通じ、お客様の多岐にわたるニーズにお応えし、より付加価値のある制御盤を提供できる企業を目指しております。

八洲電機グループ唯一のメーカーとして安全遵守と品質管理に努めるとともに、創業時からの「信頼(CS)と技術に生きる」という顧客第一主義の方針に沿ったより良いサービスを提供し、技術者集団として信頼強化に努めてまいります。



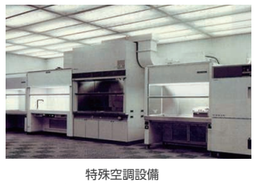
八洲環境エンジニアリング株式会社

八洲環境エンジニアリング㈱は、空調・給排水衛生設備工事事業を主体としています。

現在までに築き上げた知見や技術力、施工力を通じ、オフィスなどの一般空調からクリーンルーム等の特殊空調、さらに冷凍・冷蔵設備を提供することで、様々な空間への快適性をお届けしております。

2020年4月には、関西営業所を支店に拡充し、さらなる事業の拡大を目指します。

これからも、お客様に心から満足していただける製品とエンジニアリングを提供し、環境配慮型社会の構築へ貢献してまいります。


特殊空調設備
スーパーケミカルクリーンルーム

八洲情報システム株式会社

八洲情報システム㈱は、八洲電機㈱の情報・通信システム事業を承継し、分社化して２年目を迎えました。

当社は、設備や機器からの情報を収集する監視システム、入退出管理や監視カメラといったセキュリティシステム、駅や列車の情報をリアルタイムに配信するサービスやデジタルサイネージなどのお客様の現場フィールドに近い分野を軸に事業を展開しております。

5Gのサービスがスタートし、産業界でのAI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)などの技術を活用し、システム構築から運用サポートまでお客様に最適なソリューションをご提供してまいります。



株式会社中国パワーシステム



㈱中国パワーシステムは、1988年2月の創業以来、中国電力㈱様及びそのグループ各社様に、火力、水力発電設備・受変電設備機器の販売及びサービスを展開しております。メーカーと一体となった営業活動を通じて、中国電力㈱様の経済的で安定的な電力事業に貢献しています。

電力事業が大きな変革期を迎えている中、新規事業、新分野等に対して八洲電機グループと連携を図り、取り組んでまいります。

株式会社西日本パワーシステム



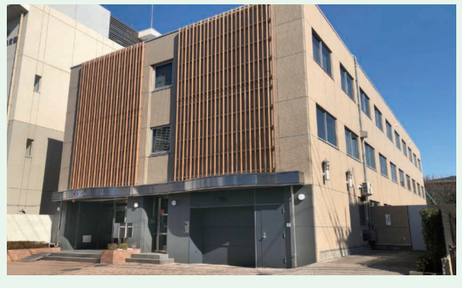
㈱西日本パワーシステムは、2019年4月に営業を開始いたしました。九州地区にて水力発電設備機器の販売及びサービスを中心に営業活動を行い、お客様にとって最適なソリューションを提供いたします。

株式会社三陽プラント建設



㈱三陽プラント建設は、60年以上にわたる据付・配線工事の設計・施工の経験を活かし、八洲電機グループ及び日立グループ各社の「交通システム分野」をはじめ「変電設備」「鉄鋼・石油プラント」「公共施設」などにおいて、経験で培われた専門的な技術と習得したノウハウをもって、電気・機械設備工事の設計から施工までを展開し、総合技術力でお客様に満足いただける確かな品質を提供いたします。

八洲ファシリティサービス株式会社



八洲ファシリティサービス㈱は、八洲電機㈱のサービス会社として1976年に分離独立し、多くのお客様のご愛顧、メーカー及び協力会社様のご支援のもと、おかげさまで本年で設立44年を迎えます。

当社は、お客様の大切な工場及びビルの設備であります空調・冷凍・産業機器(空気圧縮機、クレーン、ポンプ他)の修理・保守・整備とこれら設備のリニューアル工事までをトータル的に請け負うサービス会社として、お客様の様々な省エネニーズにお応えしております。

本社(東京都荒川区)、北関東地区(栃木県宇都宮市)、西関東地区(神奈川県厚木市)の3つの営業・サービス拠点と機器の修理・点検・整備・改造等の作業に対応するための工場設備(埼玉県川口市)を有する体制で、常にお客様第一の立場でこれからもさらなる高品質で付加価値の高いサービスのご提供を目指しております。


パッケージエアコン（空調機器）


空気圧縮機（エアー供給機器）





Plant Business

プラント事業

高度な技術とシステムで循環型社会の実現に貢献する「鐵」資源リサイクルの技術パイオニアをサポート

産業界では、地球温暖化、廃棄物、リサイクルなど多岐にわたる環境問題への対応が求められています。
鉄リサイクルを通じて、環境保全と産業発展が両立する脱炭素・循環型社会の構築に取り組む東京製鐵株式会社 宇都宮工場様の案件では、貴重な資源となる鉄スクラップの受け入れを行う「原料・検収システム」の更新工事に際して、さらなる効率化、機能向上を図りました。

導入事例のご紹介

東京製鐵株式会社 宇都宮工場様



東京製鐵株式会社 宇都宮工場
業務部 資材課 資材係長　中山 佳郁様

導入事例のご紹介

貴社の原料・検収システムの特徴と更新テーマをお聞かせください。

当工場が技術パイオニアの役割を果たす電気炉製鋼法による鉄スクラップのリサイクルは、天然鉱物資源からの製造と比較して、CO_2排出量が4分の1と圧倒的に少なくて済みます。また、その鉄鋼製品の特性は、生産工程における温度制御、加工（圧延等）制御にて作り込まれるため、低品位の鉄スクラップでも、多様な製品に生まれ変わることができます。当工場では、年間45万トンを生産し、その基盤となるシステムが八洲電機さんの「原料・検収システム」です。導入から10年を経て更新時期を迎え、2016年頃から、八洲電機さんに当工場を含む同システムを運転する国内4工場の詳細な現場ニーズを把握していただき、当工場は4つの更新テーマ、(1)対製鋼計算機通信のLAN化、(2)炉前作業時のタブレットPC端末導入、(3)トラックヤード表示器等のLED化、(4)スクラップ原料の銘柄数の追加、自動クレーン運転の効率改善を掲げ、更新作業をお願いしました。

更新後のご評価、また更新時の当社対応について、お聞かせください。

当工場は、トラックで運ばれた鉄スクラップが、低炭素の鉄鋼製品を生みだす主原料となる点が特徴です。近年、東京製鐵では鉄スクラップの利用拡大を進めており、より多様な原料を取り扱う傾向にあり、効率よく仕分けする必要があります。こうした中、更新テーマの「スクラップ原料の銘柄数の追加、自動クレーン運転の効率改善」によって、当工場はさらなる機能向上が推進できたと思います。

また、当工場は年末年始やGW等の長期休暇を除き、ほぼ毎日、鉄スクラップ受け入れが大原則です。更新作業時にはシステム停止を2日間に留めるなど、八洲電機さんには終始、当工場のニーズに真摯に向き合い、対応いただきました。

今後の八洲電機グループへの期待をお聞かせください。

東京製鐵は鉄リサイクルを行う国内トップ企業として、2017年に長期環境ビジョンTokyo Steel EcoVisionを発表しました。

その取り組みとして、脱炭素・循環型社会の実現に向けて国内鉄スクラップの購入量を2030年に600万トン、2050年に1,000万トンを目指しています。当工場も年産80万トン（製鋼ベース）に向けて、世界一の生産工場、スマートファクトリー化を目指します。そのためにも、是非、今後も八洲電機グループさんの最新技術のご提案、ITの力に期待しています。



Industrial and transportation business

産業・交通事業
（交通システム）

安全かつ安定的な列車運行の基盤となる運行管理システム

産業・交通事業では主力の交通システム分野において、より効率的な運営と旅客サービスの向上を目指す鉄道事業者の多様なニーズにお応えしています。
多摩都市モノレール株式会社様の案件では、運行管理システムの更新工事を請け負い、安全・安定的な列車運行と旅客案内など乗客へのサービス向上の実現に寄与しました。

導入事例のご紹介

多摩都市モノレール株式会社様



多摩都市モノレール株式会社
運輸部 課長代理（電気グループ）兼 安全管理推進室 課長代理　大熊 一人様

導入事例のご紹介

運行管理システムについてお聞かせください。

運行管理システムは、列車の運行状況を監視し、進路制御を行うなど、列車運行の基幹システムです。当社は1998年に開業して約20年が経過し、運行管理システムの更新に踏み切りました。運行の監視・制御機能に加えて、列車無線と連携して車内表示器にリアルタイムな運行情報を表示するなど、旅客案内サービスの向上を図りました。

当社を選定された理由とご評価をお聞かせください。

運行管理システムは、万が一にも不具合が生じた場合には運行トラブルに直結します。八洲電機さんに提案いただいたシステムは、他社でも実績があり、技術とコストバランスも良く、信頼性がありました。加えて、費用や工期など経営面の課題にも対応されるなど、システム構築のソリューション技術に優れていました。また、当社の開業時から保守メンテナンスに関わり、現場にも精通されている安心感もありました。

契約から設計、製作、施工に約3年がかかりましたが、当社運輸部門の要望による仕様変更などにも柔軟に対応いただきました。現場での施工は約1年半の長期にわたり、作業や試験は毎晩繰り返し行われましたが、八洲電機さんが、連日の夜間作業も関係各社、そして当社関係者などと連携を取り、翌日の列車運行に影響を出すことなくスムーズにシステム更新ができました。

今後の当社への期待をお聞かせください。

多摩都市モノレールは、多摩地区を縦断して都心へ向かう各路線をつなぎ、また沿線には大学や商業施設も多く、多摩地区の重要路線としてお客様が年々増加しています。交通インフラは地域の人口増加や活性化に不可欠であり、当社は地域貢献をテーマに、安全・安定輸送の継続と旅客サービスの向上に努めてまいります。そのためにも、八洲電機さんからの新技術に関する情報提供とともに、様々なシステムづくり、モノづくりを一緒に行っていければと期待しています。



Industrial and transportation business

産業・交通事業

(産機システム)

長年の実績と経験に基づく開発力と提案力を駆使し、世界最高レベルのサーボプレス機開発をサポート

産業界ではIoTによる遠隔制御や保守作業の効率化、そして外部との連携による収集データの相互活用といった技術革新が日進月歩で進行しています。
株式会社放電精密加工研究所様の案件では、標準仕様の小型プレス機との開発ニーズに際して、㈱日立産機システム社製のサーボシステムをベースにカスタマイズのご提案を行い、世界最高レベルの高精度・高効率のサーボプレス機開発に貢献しました。

導入事例のご紹介

株式会社放電精密加工研究所様



株式会社放電精密加工研究所
執行役員 産業機械事業部長 座間事業所長　高橋 竜哉様

導入事例のご紹介

貴社の事業についてお聞かせください。

当社は1961年に創業し、現在は、放電加工・表面処理、金型、機械装置等の3つの事業を展開しています。その事業領域は、航空・宇宙、住宅、交通・輸送、環境・エネルギー、機械装置等、多岐にわたっています。その中でも特に機械装置等事業においては、デジタルサーボプレス「ZENFormer」等の高精度サーボプレス機、特化専用機の開発・製作・販売等や精密プレス部品の受託加工を通じて、世界の最先端レベルのプレス設備と加工技術を提供していると自負しています。

八洲産機システム株式会社との取引経緯をお聞かせください。

当社は、2002年に世界初の直動式デジタルサーボプレス「ZENFormer」を発表し、2008年にモデルチェンジした際、八洲産機システムさんを通じて㈱日立産機システム社のモーターを導入したのが取引の始まりです。もともと「ZENFormer」は独自の4軸独立制御によってスライドの平行度の維持に優れ、高精度なプレス加工を実現していましたが、新たに開発してもらった4軸のモーターによって、さらに機械性能が高まり、スピードは倍近く早くなりました。

2013年には、マルチマテリアルをテーマに、金属以外にフィルム加工や樹脂の成形も可能となる小型の直動式デジタルサーボプレス「ZENFormer nano」を発表しました。この際も八洲産機システムさんとグループ会社(ヤシマコントロールシステムズ㈱)に制御盤の設計協力及び量産製造いただくなど、同社は当社機器のコア部品を、信頼してカスタマイズいただける重要なビジネスパートナーと考えています。

今後の八洲産機システム株式会社への期待をお聞かせください。

既に当社のサーボプレスではプレス加工時の情報をデジタル化しており、2020年11月に完成予定の大和工場でもIoT化を進めています。今後は、マルチマテリアルに対応するデジタル化したサーボプレスと詳細なデータ分析、お客様への情報提供や新たなニーズへのフォローアップといった一連のサービスを充実させていきます。“お客様の悩みを解決する”ためにも八洲産機システムさん、㈱日立産機システムさんには、データ通信等の機器構成など、当社の新たな事業サービス分野においても相談できるビジネスパートナーとして期待しています。



Industrial and transportation business

産業・交通事業

(情報システム)

最適なシステム提案により問題解決 定期修理の工期短縮、柔軟な要員配置を実現

プラント事業では、高圧ガスや危険物などを原料として取り扱う石油化学産業、鉄鋼産業が抱える様々な課題を解決するソリューションを提供し、生産装置の安全安定運転及び労働災害の防止を支援しています。
JXTGエネルギー株式会社 根岸製油所様の案件では、ウェアラブル端末を活用した現場支援システムの導入により、定期修理(定修)時の現場コミュニケーションの向上による作業効率化に寄与しました。

導入事例のご紹介

JXTGエネルギー株式会社 根岸製油所様



JXTGエネルギー株式会社 根岸製油所
計装電気グループ チームリーダー　川原 清志様

導入事例のご紹介

新たな現場支援システムを導入したきっかけをお聞かせください。

根岸製油所は1961年に建設され、日本最大規模の220万㎡の敷地面積で27万バーレル/日の石油処理を行っています。生産装置を安全安定に24時間連続操業するために不可欠な定修は、昨今、規制改革による連続操業の拡大にともない、1回あたりの工事量の増大で、長期化しています。そのような状況下、熟練工事技術者の不足や若手技術者への技術の伝承など少子高齢化による問題に加えて、さらに「働き方改革」関連法令、中でも「時間外労働時間の上限規制」遵守のための取り組みが喫緊の課題となっていました。

そこで、定修の効率向上、工期短縮を目的として、監督者や熟練技術者から若手技術者へ遠隔にて指示を行うことにより、より柔軟な要員配置を実現するべく、八洲電機さんに相談した次第です。

ウェアラブル端末の活用までのご苦労、また活用後のご評価をお聞かせください。

定修の際、定修事務所を2ケ所設営し、そこから作業現場を指揮しており、従来は携帯電話や無線にて連絡を取り合っていました。しかし、作業現場には、仮設電源やウェルダー（エンジン溶接機）といった装置による騒音が発生しており満足に会話できる状態ではなく、結局、監督者や熟練技術者が現場状況把握、指示のため作業現場へ出向いていました。この片道数キロメートル、時間にして30分程度の移動ロスをいかに無くすかが大きな課題でした。そこで、八洲電機さんが定期的に行っている製品展示会において相談し、システム提案をいただきました。実際に、定修中の作業現場にてテストを繰り返し行い、騒音除去の問題は、ノイズキャンセラー付ブルートゥースのヘッドセットにて解決いただきました。また、現場事務所と現場間のネットワークやセキュリティ面についても、代替案をいただきながら要求条件をクリアいただき、無事導入となりました。

現在、根岸製油所内では製油技術部門が通常運転時にも汎用的に使える防爆システムの導入を検討するほか、当社グループの他製造拠点からも高い関心が寄せられています。今回の現場支援システムのメリットは省力化に留まらず、多くの製造現場で生じる職員の高齢化に伴う技術伝承の問題において、人材育成のために補修作業を撮影し映像でマニュアル化できることも大きなメリットです。

今後の八洲電機グループへの期待をお聞かせください。

根岸製油所は鉄道、高速道路、住宅地が近く、安全第一を徹底しています。省力化、効率化、品質・安全管理等、さまざまなテーマに関連する新技術について今後とも積極的に情報提供いただけることを期待しています。

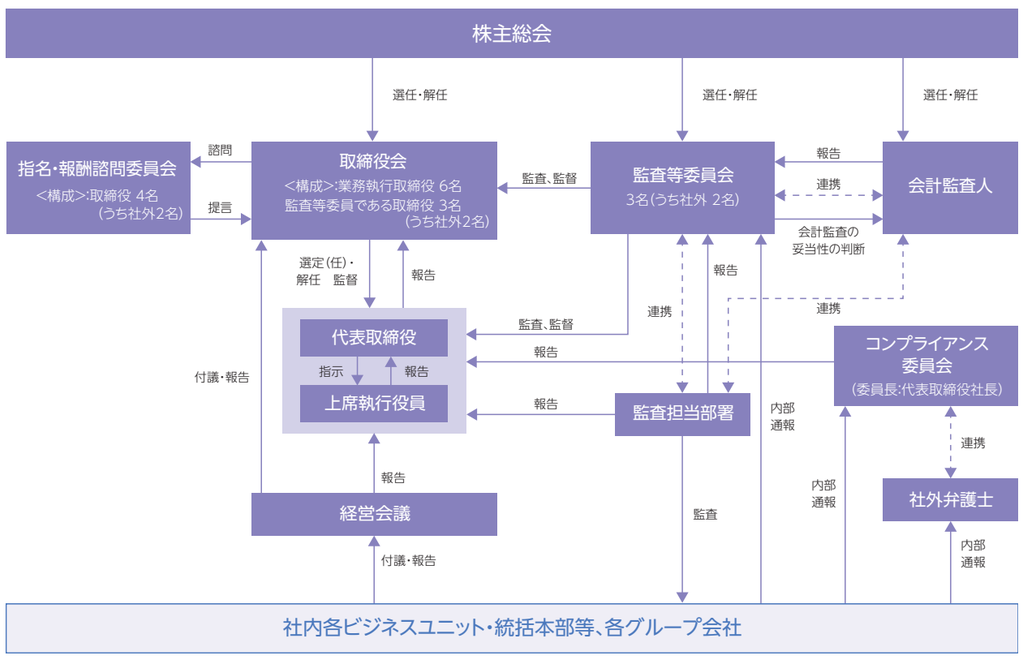


コーポレート・ガバナンスに関する基本的な考え方

当社は、八洲電機グループの持続的な成長と長期的な企業価値の向上を図る観点から、公正かつ透明な企業活動を行うことを経営の基本とし、この方針を支えるコーポレート・ガバナンスの重要性を充分認識し、経営の公正性・透明性を確保するとともに、迅速な意思決定の維持・向上に努めております。
当社は、実効性のあるコーポレート・ガバナンス体制として権限と責任を明確にした意思決定とこれを監視、評価する体制を整備し、より良いコーポレート・ガバナンスを追求し、その充実に継続的に取り組んでいくために、監査等委員会設置会社となっております。

当社のコーポレート・ガバナンス体制の概要図

2020年4月1日現在



内部統制システムの整備と体制

業務執行を適正かつ健全に行うために、取締役会が実効性ある内部統制システムの構築と法令等遵守の体制を確立しています。また、監査等委員会は内部統制システムの有効性と機能を監査しています。

代表取締役である社長直轄で、業務執行部門から独立した「監査部」を本社内に設置し、グループ会社も含めて各部門に対して内部監査を実施し、内部統制の有効性を評価・確保しています。

内部監査は、代表取締役である社長の承認を得た年間計画に基づいて実施され、個々の内部監査の結果は、速やかに代表取締役である社長と監査等委員会に直接報告されるほか、取締役会や経営会議においても報告されます。また監査部門は、各部門より監査結果に対する改善策の報告を受領し、改善策が適切に行われているか定期的にフォローしています。

輸出管理の体制及び取組み

当社は、継続的に輸出管理の強化、そしてさらなる改善を図るために代表取締役を最高責任者とする輸出管理体制を構築し、「安全保障輸出管理規程」を定め、「外国為替及び外国貿易法」などを含む法令に基づいた厳格な管理及びリスクに対する取引審査や出荷管理、入庫管理などを実施しています。その管理はグループ会社も対象としています。

また、当社及びグループ会社も含めて、適正な輸出取引や通関手続きを実施するため、輸出管理に関する研修等を実施し、コンプライアンスの徹底を図っています。

通報・相談窓口の整備

当社は、八洲電機グループの「行動規範」に反する行為があることを従業員が知り得た場合に、先ず上長に報告・相談することを基本としています。

しかし、このような報告・相談が難しい場合や適さない場合、問題等をより早期に発見し必要な対策を実施するために、八洲電機グループの共通窓口としてコンプライアンス担当部門、監査等委員会及び社外の法律事務所の合計3ヶ所に「ホットライン」を設置し、従業員が通報・相談しやすい環境を整備しております。

ホットラインへの通報・相談については、「内部通報規程」に従い、当該案件の関係者すべてのプライバシー保護に配慮した調査を行ったうえで、是正・勧告などの対応を行います。調査結果は、取締役会や経営会議に報告し問題の解決や再発防止につなげています。

なお、2019年度の八洲電機グループホットライン制度の利用者はいませんでしたが、監査法人への通報が1件ありました。

コンプライアンスの徹底に向けた啓発・教育

健全な企業活動を推進していくためには、法令や社内ルールを遵守するとともに、公正で自由な競争を行うことが求められています。

当社は、毎年、グループ会社を含めた従業員などを対象として、コンプライアンス研修を行っています。

2019年4月から、コンプライアンス・ニュースにケーススタディを掲載するようにしました。これは、各職場で毎月ケーススタディについてグループ・ディスカッションを行うことを通じて、コンプライアンス意識の全社的な醸成・強化を図ることを目的としたものです。



「ダイバーシティ推進」について

当社の「ダイバーシティ推進」は、社員の数だけ多様性が存在することを受け入れながら一人ひとりの能力を最大限に発揮し、生産性の向上につなげていくことです。
新たな環境づくりのため、これからも様々な施策・制度導入を推進してまいります。

当社独自の働き方改革を目指して

働き方改革のすすめ

背景

少子高齢化の進行や労働力人口の減少に歯止めがかからない中、政府は一億総活躍社会の実現を標榜しています。当社も全社員総活躍会社を目指し、性別・年齢・障害を越えた真のダイバーシティ実現に向け、多様な働き方を受け入れる体制づくりに鋭意邁進中です。

なぜ「働き方改革」を行うのか？



目的

すべての社員が生活上のあらゆる制約を乗り越えて持てる力をフルに発揮し、存分にキャリアを追求できる会社となることです。社員の働く場所や働く時間を極力制限せず、各社員の都合に合わせた働き方の実現により、最大の成果をあげることを目的としています。

「働き方改革」はどうやってやるの？



八洲の現状

当社の「働き方改革」は、「支援環境の整備」と「意識・行動の変革」の2つで推進します。創立70周年記念事業の一環として実施した本社ビルの建替えを機にワークスタイル変革プロジェクトを発足した際には、「支援環境の整備」を重点的に取り組み、現在は「意識・行動の変革」に対し、次の2つの施策に取り組んでいます。

1 イクボス研修・ハラスメント研修の実施

2 モニター社員によるフレックスタイム制度等の積極的活用

働き方改革の取組みと施策

- **ワークライフバランス**
  - 年末年始休日の拡大
  - 一斉年休の拡大
  - 積立有休制度の制定
  - 育児休業早期繰上げ支援金の新設
  - ジョブリターン制度の制定
- **環境整備**
  - シンクライアント（モバイル）PC＋スマートフォンの支給
  - フリーアドレスの導入
  - サテライトオフィス利用認可
- **長時間労働の是正**
  - 全館20:30完全消灯実施
  - 勤務間インターバル制度の導入
- **柔軟な働き方**
  - スーパーフレックスタイム制度の導入
  - 時差出勤制度の制定
  - 直行直帰奨励
  - スポット在宅勤務制度の導入
- **キャリア形成**
  - 総合職への転換基準の改訂
  - 総合職転換社員の基本給体系の改定
  - 派遣等非正規社員の正社員登用
  - 定年者雇用制度の処遇体系改訂

1.役員・管理職向けの研修を実施

(1)イクボス研修の実施

当社のイクボスの定義（右記参照）に基づき、組織の生産性を大幅に向上させるマネジメントスキルを学ぶ「イクボス研修」を2019年2月から8月まで実施いたしました。

当社のイクボスの定義

①それぞれの部下が抱える隠れた制約要因を的確に見抜き
②多様で柔軟な働き方を積極的に選択させることで
③全部下の意欲と能力を最大限発揮させ
④組織成果の極大化を達成できる上司

受講者の感想

- 研修は、イクボスが求められる経済状況・社会的背景から説明されており、理解しやすい内容でした。また、自社の取組み施策等にも触れていたため、今後、具体的な行動に落とし込みやすい研修でした。
- 今までの働き方にとらわれず、柔軟な働き方を取り入れ、パフォーマンスの高い組織づくりに努めていきます。

(2)ハラスメント研修の実施

当社は2020年6月からのパワハラ防止法施行に先立ち、パワハラ防止における基礎知識・メカニズムを理解することと、部下の指導法について学び、心理的安全性が確保できる職場環境を整えてイノベーションと生産性の向上を図るため、グループ会社を含む全管理職を対象にハラスメント研修を2019年12月から2020年2月まで、実施いたしました。

受講者の感想

- 自分の性質、傾向を理解し、部下とどう向き合えばいいかを考えることができました。
- 部下がより働きやすい職場環境を整えていきたいです。

2.モニター社員によるフレックスタイム制度等の積極的活用

個々の制約に合わせた柔軟な働き方を尊重し、「生産性の向上」「働きやすい会社」「働きがいのある会社」を実現するために、昨年に引き続き、制度モニターを実施しています。

モニター社員からの声

- フレックスタイム、直行直帰、サテライトオフィスの活用により、無駄な移動時間を削減することができ、時間を有効的に使うことで、仕事の効率がよくなりました。

女性活躍推進ネットワークミーティングを開催！

八洲のダイバーシティ推進の一環である「女性活躍推進」にスポットをあてた「第1回女性活躍推進ネットワークミーティング」を総合職の女性社員を対象に開催しました。
これは、一人ひとりの能力を最大限に発揮して、女性がやりがいを持って働くことができる環境づくりを目指すためのものです。
今後は、女性がさらに活躍するために、次の内容に取り組んでまいります。

①女性社員間の交流・情報共有
②意識改革、能力・キャリア開発
（勉強会、セミナー、講演会）
③女性が抱える課題の解決



実施後の感想

- 女性がやりがいを持って働ける環境づくりに向けて、積極的に参画していこうという気持ちが芽生えました。



『健康経営宣言』について

当社では、これまで従業員と家族の健康保持・増進のため、生活習慣病対策やメンタルヘルス対策などの各種施策に取り組んでまいりました。
より一層この取り組みを強化するとともに「働き方改革」や「ダイバーシティマネジメント」と連携しながら「健康経営」を推進するため、2018年に「八洲電機健康経営宣言」を制定し、以下の重点施策に取り組んでおります。

『健康経営宣言』

当社は、「社会に信用・信頼される会社」「社会に奉仕する会社」「社会に協力・協調する会社」(「信・愛・和」)を経営理念に、経営ビジョンである「クオリティーの高いサービスを通じ　お客様と共に価値を創造する　ベストプランナーとして　環境配慮型社会に貢献する」ため、従業員が健康であること、そして健康的に働くということが、重要な経営課題であるととらえています。

従業員の健康を積極的に支援する健康経営の推進を通じて、組織の活性化や生産性の向上を図り、その先にある社会に貢献することを宣言します。

『重点施策』

① からだの健康

●運動機会の増進　2019年度実績…MINATOシティハーフマラソン2019協賛・ランナー参加

●喫煙者の減少　2019年度実績…喫煙率の減少(40.1%→29.5%)・禁煙外来治療費全額負担

② 職場の健康

	2018年実績	2019年実績	2020年予想
年間実総労働時間(ひとりあたり)のさらなる減少	1,954.15時間/年	1,939.26時間/年	1,920.00時間/年
有給休暇取得率のさらなる向上	58.93%	59.54%	60.00%

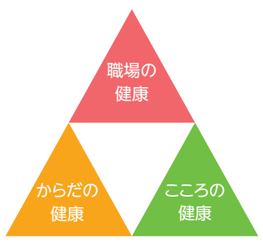
③ こころの健康

●産業保健スタッフ拡充による健康相談の利用促進　(延べ人数)

2018年実績	2019年実績	2020年予想
62人	52人	60人



MINATOシティハーフマラソン2019協賛・参加



取組みの結果について

2020年3月には、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)～ホワイト500～」の認定を受けました。

また、健康経営に積極的に取り組んだ結果、2020年3月に健康企業宣言東京推進協議会より「健康優良企業(金)」の認定を受けました。

健康経営優良法人2020 Health and productivity ホワイト500

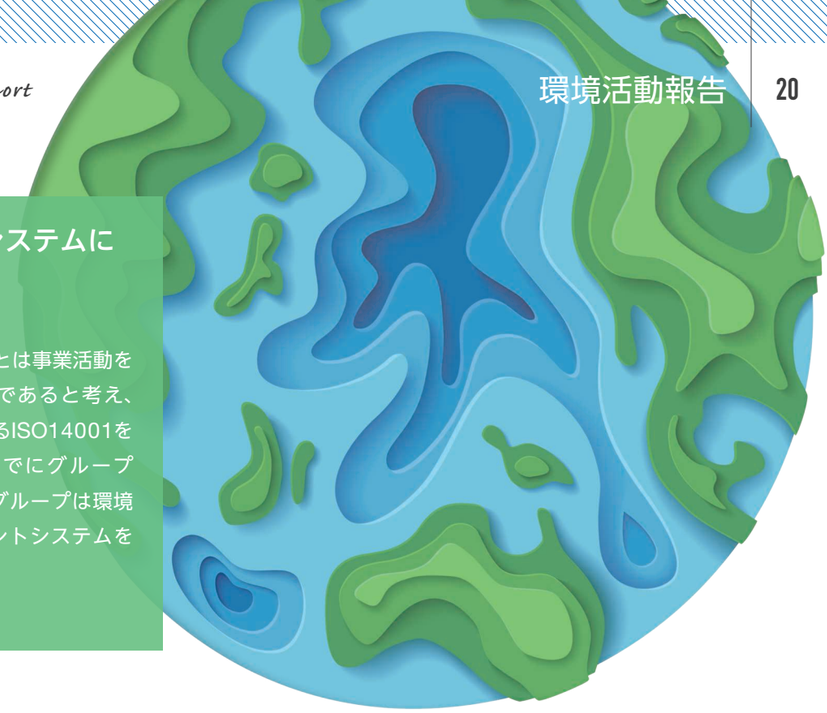
「健康経営優良法人2020(大規模法人部門)～ホワイト500～」では、次の4つの分野に取り組み、認定いただきました。

①経営理念・方針
②組織体制
③制度・施策実行
④評価・改善

健康優良企業 認定番号:協金第63号

「健康優良企業(金)」では、次の6つの分野に取り組み、認定いただきました。

①健診・重症化予防
②健康管理・安全衛生活動の取組み
③メンタルヘルス対策
④過重労働防止 ⑤感染症予防対策
⑥健康経営に関する取組み



環境マネジメントシステムについて

当社は、環境保全に努めることは事業活動を行う企業として重要な使命であると考え、2001年7月に国際規格であるISO14001を導入しました。2019年度までにグループ会社5社が加わり、八洲電機グループは環境方針に基づく環境マネジメントシステムを積極的に展開しています。

地球温暖化対策

CO_2排出抑制貢献量の実績と計画

2020年度 CO_2排出抑制貢献量

580,000トン(目標)

この活動は、お客様に納入する機器製品、システム製品のCO_2排出量を、基準年(2005年度)に比べ2020年度は580,000トン抑制するとういものです。2019年度の実績は572,057トン(目標に対して101%)となりました。

目標達成に向け省エネ製品・システムの開発及びご提案等を積極的に推進しCO_2排出抑制量の貢献に努めてまいります。

CO_2排出抑制貢献量推移(単位:トン/年)



●CO_2排出原単位は「環境省」発表の数値を適用
●年度は毎年4月1日から翌年3月31日までの1年間

再生可能エネルギーの利用

2020年4月から当社本社ビルの電力は、バイオマス燃料を利用した、再生可能エネルギーの使用を開始しました。CO_2の排出がない再生可能エネルギーを100%使用することで、年間315トンのCO_2削減を実現します。

資源の有効活用

八洲電機グループでは、資源の有効活用と廃棄物削減のため、事務所内から発生するゴミはすべて分別を行い、リサイクル品と廃棄物に区別しています。この活動により、当社本社、関西支店のリサイクル率は95%以上を達成しています。

産業廃棄物の管理

産業廃棄物の取り扱いに関しては、排出事業者の管理徹底が求められます。コンプライアンスの遵守と業務の効率化のため、八洲電機グループの廃棄物取り扱い拠点は、電子マニフェストに対応したシステムを積極的に導入しています。また、廃棄物処理委託業者の適正処理を確認するため、当社のチェックリストにより1年に1回現地視察を実施しています。

八洲電機グループでは、1年間を通じて様々な活動を行っております。

一般社団法人広島県管工事業協会主催

広島地区地域清掃活動

2019 6月

当社中国支店では、毎年一般社団法人広島県管工事業協会主催の地域清掃活動に参加しております。2019年6月22日に平和大通り南北緑地帯で行われ8名が参加しました。

東京都港区芝地区生活安全・環境美化活動推進協議会主催

「路上喫煙ゼロのまち！キャンペーン」

2019 7月・9月

当社は、本社所在地である東京都港区主催の環境美化・保全活動「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち！～」に2010年から毎年参加し、2019年は7月11日、9月12日に延べ65名が参加しました。港区をさらに「住みよいまち」にするための活動を行っています。



広島県公衆衛生推進協議会主催

平和記念公園一斉清掃ボランティア

2019 8月

当社中国支店、八洲産機システム㈱、八洲環境エンジニアリング㈱、㈱中国パワーシステムは、2019年8月1日に原爆の日（8月6日）を前に行われる平和記念公園一斉清掃ボランティア活動に31名が参加しました。



2019
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
2020
1月
2月
3月

フジサンケイビジネスアイ主催

「第6回鉄道技術展2019」に出展

詳細はP22へ

大阪市環境局主催

大阪マラソン“クリーンUP”作戦

2019 11月

当社関西支店、八洲産機システム㈱、八洲環境エンジニアリング㈱他は、2019年11月28日に大阪市環境局主催「大阪マラソン“クリーンUP”作戦」清掃ボランティア活動に39名が参加しました。

日立青葉会主催

地域清掃活動

2019 11月

当社東北営業所では、毎年東北地区の日立グループ各社が合同で主催する地域清掃活動に参加しております。2019年11月9日に仙台市青葉区内で行われました。

『八洲環境技術振興財団 今年は27名に研究開発・調査助成』

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い贈呈式を自粛

2020 3月

今回（2019年度）の助成は、選考委員による選考を経て、応募72件から27件の助成先を決定し、全国の国公立・私立大学及び高等専門学校の研究者27名に、助成金（100万円）を贈呈しました。しかしながら、当財団が2014年度より毎年3月に開催している、環境技術分野における研究開発・調査に対する助成金の贈呈式は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い中止とし、代わりに、受贈者の方々には目録を郵送しました。

また、国際会議・研究発表会等の参加及びシンポジウム等の開催への助成については、11件の助成（1件20万円）をしています。



たくさんの来場者にお立ち寄りいただきました。


遠隔現場支援ツール



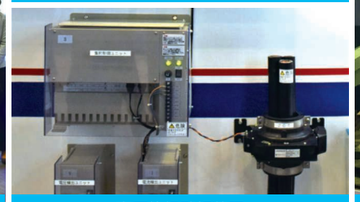
ドローン

『第6回鉄道技術展2019』に出展しました！



鉄道技術展のスタッフ


モーターCBM


高圧絶縁監視装置


クリーンレーザー装置

2019年11月27日（水）～29日（金）の3日間にわたり幕張メッセで開催された、フジサンケイビジネスアイ（日本工業新聞社）主催の『第6回鉄道技術展2019』に出展しました。

「鉄道技術展」は、鉄道・交通システムやインフラ技術、施設、電力、輸送、運行管理、車両、インテリア、旅客サービス関連他あらゆる鉄道分野の技術が横断的に会する総合見本市として2010年から開催されております。当社は2013年の第3回より出展しており、今回4度目の出展となりました。

開催期間中の3日間で35,136名（催事全体）の方が来場し、当社ブースへは約1,300名の方にお立ち寄りいただき、お客様の成長を支える『保守支援ソリューション』と働きやすい職場作りに貢献する『車両基地ソリューション』をテーマに広く紹介（PR）しました。

ブース内では、「設備・資産管理システム（SmartFAM）」をはじめ、ウェアラブル端末を活用した「遠隔現場支援ツール」、予防保全の向上を図る「モーターCBM」、絶縁劣化現象を早期に発見する「高圧絶縁監視装置」、さらに「ドローン」や錆を除去する「クリーンレーザー装置」を展示し、お客様に直接触れていただきながら説明を行うことで、より深く当社の交通システム技術をご理解いただくことができました。

今回の鉄道技術展で紹介した技術を通して、労働人口の減少・高齢化、大規模災害の増加やインフラの老朽化など、鉄道業界でも直面している様々な課題に対応し、IoTを活用したメンテナンス業務の効率化・品質向上により、設備の安全稼働を実現し、鉄道の安全、安心、快適に貢献します。